



平成31年度全国学力・学習状況調査

～登別市の調査結果～

平成31年度の登別市における調査結果の概要

○調査の概要

本調査は、義務教育の機会均等と水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力・学習状況を把握し、教育施策の成果と課題の検証により改善を図るとともに、学校での児童生徒への学習指導の充実や改善等に役立てること、加えて教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立を目的として、全国の小学6年生と中学3年生を対象に平成19年度から継続実施されてきた。

今年度は、国語と算数・数学、そして初の導入となった中学校の英語を併せた3教科に関する調査と、生活習慣や学習習慣等についての質問紙調査が行われ、登別市では、小学校376名、中学校321名が参加した。

また、従前より知識・活用をA・Bと分けて見る出題形式であったものが、新学習指導要領の実施を見据え、今回より一体的に問う形式の問題となった。いわゆるB問題の要素は、ほぼ全ての設問に取り入れられている。

○教科に関する調査

□小学校では、国語で全国及び北海道の平均正答率をやや下回っているが同程度。算数は北海道と同値で、全国をやや下回っている。

□中学校では、国語で全国及び北海道の平均正答率をやや下回っているが同程度。数学と英語は全国及び北海道を下回っている。

□無解答率は、小学校では2教科とも全国及び北海道と同程度か下回っている設問が多い。中学校では3教科とも全国及び北海道を下回っている設問もあるが、特に記述式の設問で大きく上回っている。

□正答率と無解答率がともに高い設問があり、学力の二極化も一部でうかがえる。

□教科ごとの傾向は、以下の通り。

【国語】

小学校では、資料を使う目的を捉えること、接続語を使って1文を2文に書き分けること、自分の考えをまとめて書くことなどに課題がある。

中学校では、文章の情報を整理し内容を捉えることはよくできている。一方、自分の考えをもち根拠を明確に書くことなどに課題がある。

【算数】

小学校では、面積の求め方を説明すること、資料から分かることを選びその理由を説明することなどに課題がある。

中学校では、反比例の表から関係を式で表すこと、資料から判断した理由を数学的な表現を用いて説明することなどに課題がある。

【英語】

簡単な文で書かれた内容を正確に読み取るとはよくできている。一方、話の内容や書き手の意見を捉え自分の考えを書くことなどに課題がある。

○児童・生徒質問紙調査

【自分について】

□「いじめは、どんな理由があってもいけない」「人の役に立つ人間になりたい」など、公正さを大切に、自分の力を役に立てたいと考えている小学生の割合が、全国平均を上回っている。また、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」など、自己のよさを理解し、向上心をもって生活する中学生の割合が、全国平均を上回っている。

【地域や人との関わりについて】

□「地域行事に参加している」「日本や住んでいる地域のことを外国の人に知ってほしい」と回答した小学生の割合が、全国平均を上回っている。これらと併せ「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」と回答した中学生の割合は、全国平均をやや下回っている。

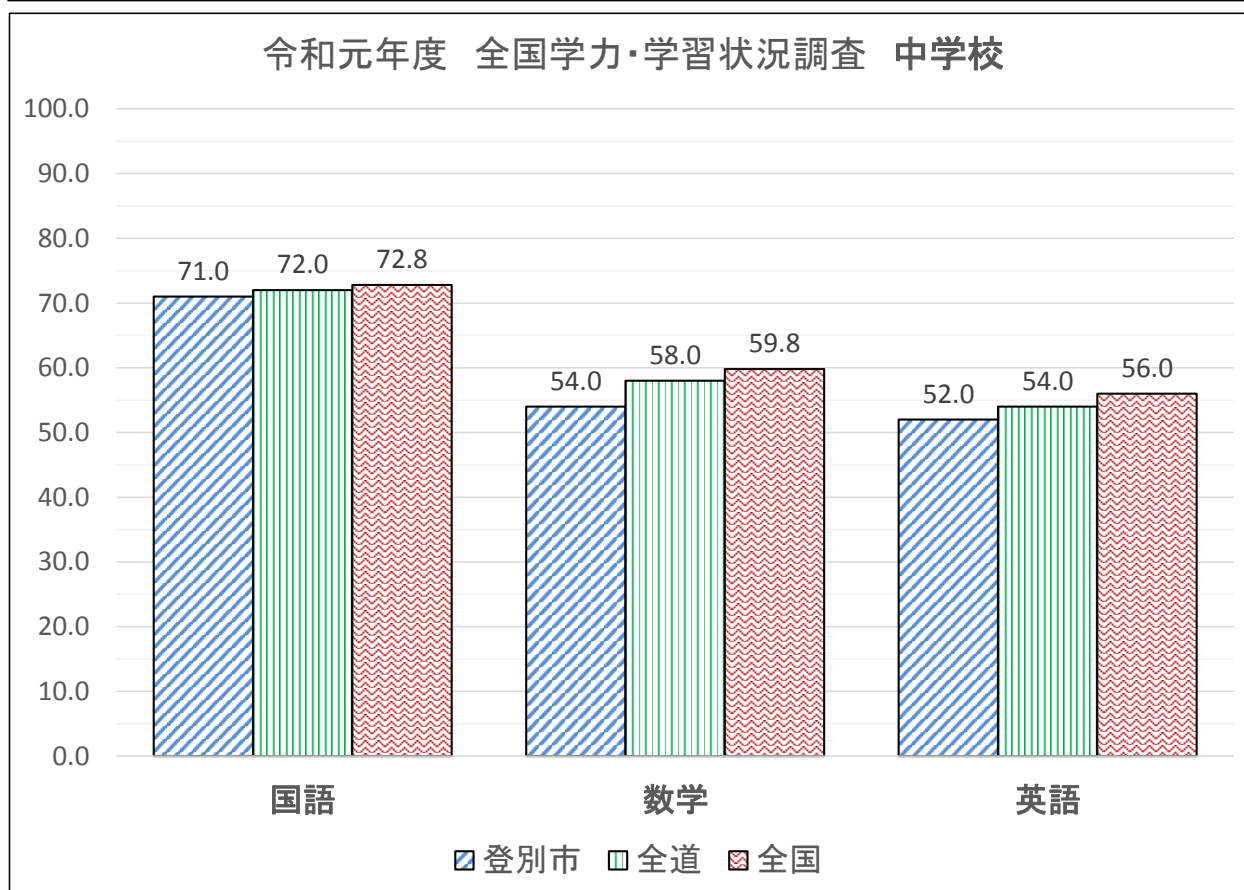
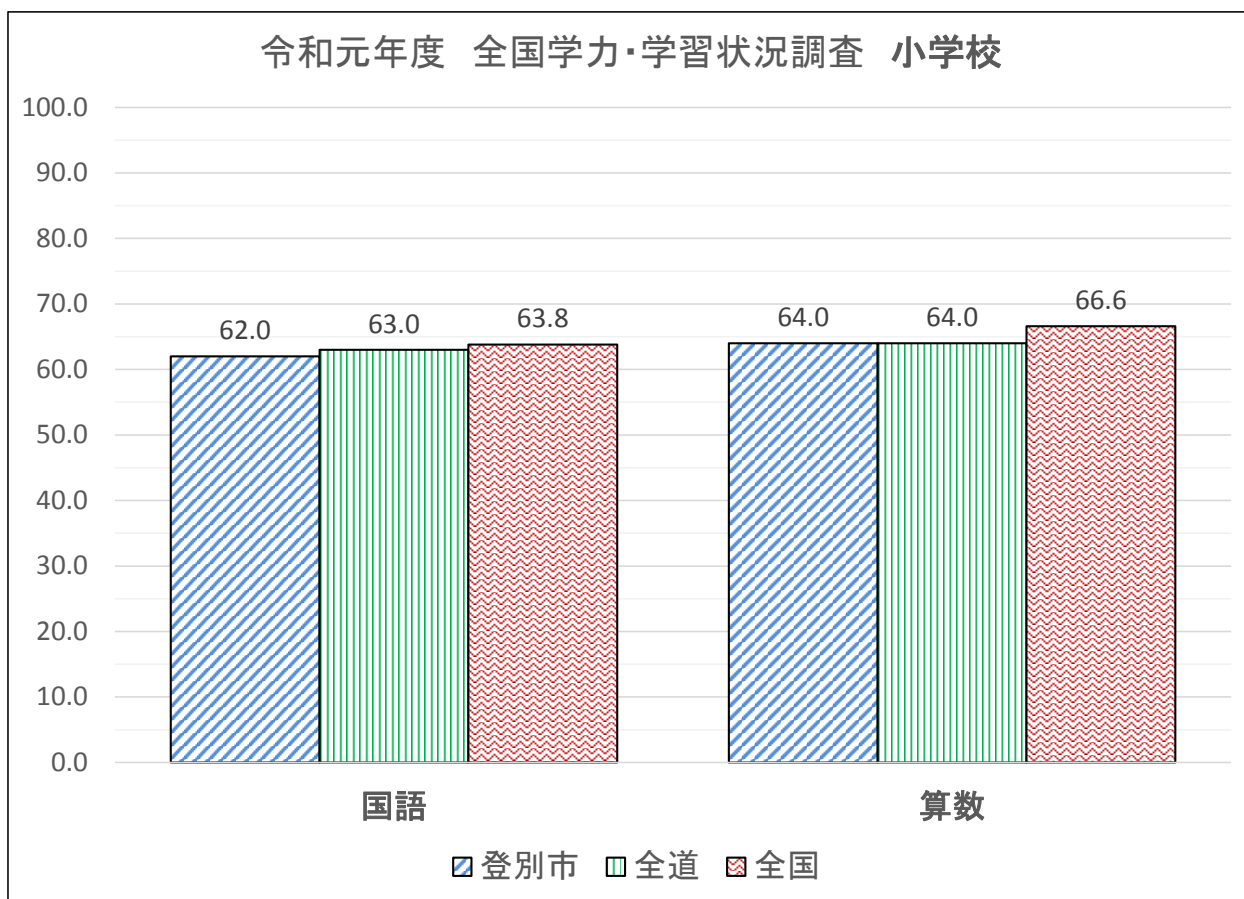
【家庭生活・家庭学習について】

□「毎日、同じくらいの時刻に寝る・起きる」「家で自分で計画を立てて勉強する」など、基本的な生活習慣や家庭学習習慣を身に付けている小・中学生の割合が、全国平均を上回っている。

【学校での学習について】

□「これまでに受けた授業では、課題の解決に向け、自分で考え自分から取り組んだ」「学級で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」など、主体的・対話的で協働的な学習活動に取り組む小・中学生の割合が、全国平均を上回っている。

令和元年度 全国学力・学習状況調査「登別市の状況」 ～全道・全国との比較～



～小学校・国語における調査結果の概要～

【読むこと】

疑問に思ったことを調べ、紹介し合う（「食べ物の保存」）

□大問2 設問二

宮原さんが自分で梅干しを作るとして、必要な情報を得るために適切なページの番号を選択する問題

正答率は89.6%。必要な情報を得るために、本や文章全体を概観して効果的に読むことができています。

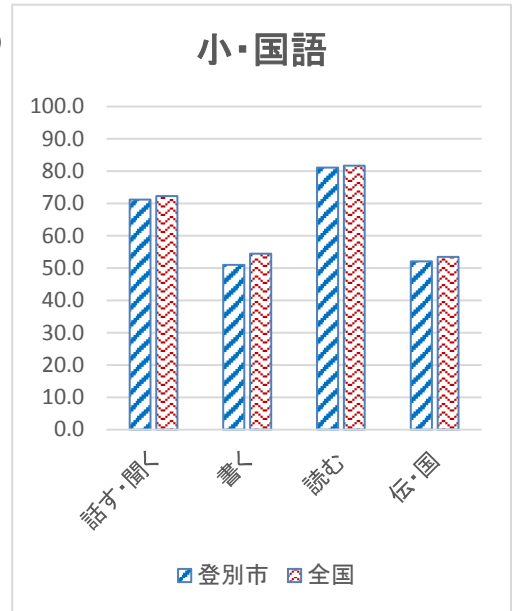
【目次の一部】

第2章 梅干し	
○ 梅干しはどこからきたのか ・梅干しの歴史	… 40ページ ①
○ はじめてでも簡単にあちで梅干し ・梅と塩、道具の選び方 ・作り方の手順とポイント	… 55ページ ②
○ 梅干しの活用術 ・いわしの梅干し ・わかめと梅干しのスープ	… 67ページ ③
○ 梅干しの豆知識 ・故事とことわざ	… 77ページ ④

梅干しを作るには梅はどのくらい必要で、いつ入れたらいいのかわかる。



宮原さん



【話すこと・聞くこと】

地域で活躍する人を紹介する（豊職人へのインタビュー）

□大問3 設問一

豊職人へのインタビューの中で、聞き手の児童が自分の理解が正しいかどうかを確認するときの適切な質問を選択する問題

正答率は80.6%。インタビューの場面で、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の理解を確認するための質問ができています。

【書くこと】

調べたことを報告する文章を書く（「公衆電話」）

□大問1 設問二

報告する文章の「（2）公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」の部分における書き方の工夫として適切なものを選択する問題 正答率は59.8%

□設問三

報告する文章の「3 調査の結果をもとに考えたこと」の部分に、「（1）公衆電話はどのようなときに必要なのか」と「（2）公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」で分かったことをまとめて書く問題 正答率は27.4%

相手に分かりやすく情報を伝えるための記述の工夫を捉えたり、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書いたりすることに課題があると考えられる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

調べたことを報告する文章を書く（「公衆電話」）

□大問1 設問四（1）ア

「地いきの人三十人を調査のたいしょうとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ…」という文章の下線部を正しい漢字で書く問題 正答率は39.1%

□設問四（1）ウ

「今回の調査を通して知ったことを…多くの友達に伝え、公衆電話についてかんしんをもってもらいたいと思います」という文章の下線部を正しい漢字で書く問題 正答率は29.5%
漢字（同音異義語）を文の中で正しく使うことに課題があると考えられる。

□設問四（2）

公衆電話について調べたことを【報告する文章】の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す問題 正答率は41.8%

文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って分けて書くことに課題があると考えられる。

◎質問紙調査から

1日の生活の中で読書をする本市の小学生の割合は79.8%で、各学校において生活の中に読書を根付かせる朝読書などの取組が奏功していることがうかがえる。今後も、語彙を増やす、言い回しを身に付ける、心を穏やかにするなど、言語感覚を養い様々な効果をもたらす質の高い読書指導が求められる。

◎授業改善のための方策

【話すこと・聞くこと】

○求める情報を得るために必要な質問をしたり、やりとりしたりする指導

・直接的に相手とやりとりするインタビューでは、必要な情報を得るために「行う目的や聞き出す内容」を明確にできるよう意識させる。また、話の展開によって目的に応じ即興的に質問を考えたり、相手の意図を捉えて質問したりできるようにする。

【読むこと】

○目的に応じ、文章全体を概観して効果的に読む指導

・調べ学習などで用いる図鑑や事典を効果的に読むため、目次や索引等を活用できるようにする。その際、目次や索引の特徴を理解し、調べる目的や状況に応じて活用できるようにする。

【書くこと】

○目的や意図に応じ、自分の考えの理由を明確にまとめて書く指導

・より説得力をもって自分の考えを伝えるために、調査したことを報告する文章では、調べて分かった事実を基に自分の考えをまとめて書くことができるようにする。その際、報告する目的に応じて、どのような理由や事例を挙げて自分の考えをまとめることが適切かを十分考えて書くことができるようにする。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○学年配当の漢字を文の中で正しく使う指導

・熟語などの使用が増える高学年では、中学年までの学習を生かし、主体的に漢字辞典を使って意味を調べたり、同音異義語を使った短文作りをしたりする学習を取り入れるなどして、文や文章の中で正しく使うことができるようにする。

～小学校・算数における調査結果の概要～

【量と測定】

図形の構成と筋道を立てた考察（台形）

□大問1 設問(3)

示された形の面積の求め方を解釈し、言葉や数で記述する問題

正答率は36.7%。それぞれの数がどの部分の面積を表しているのかを読み取ること、既習図形の求積に課題があると考えられる。

【数量関係】

資料の特徴や傾向を読み取り判断すること（水の使用量）

□大問2 設問(3)

一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由をグラフ2・3から分かることを基に、言葉や数を使って書く問題

正答率は46.8%。二つの棒グラフから資料の特徴や傾向を読み取り、それらに関連付け、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述することに課題があると考えられる。

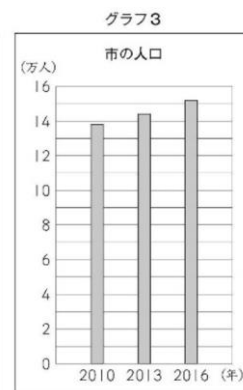
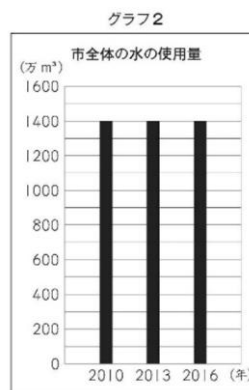
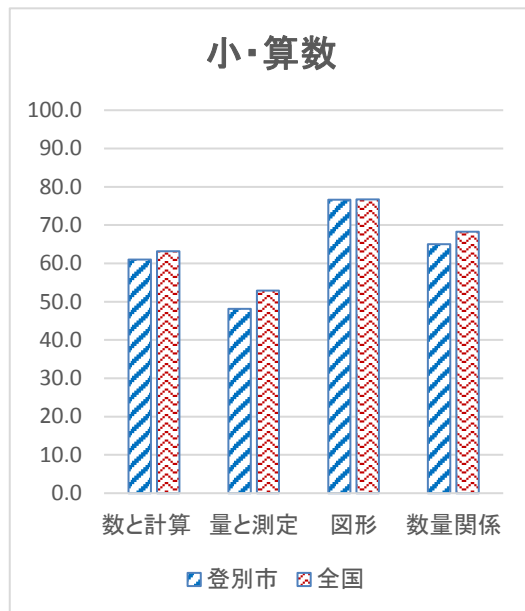
【数と計算】

計算の仕方の解釈と発展的な考察（計算の工夫）

□大問3 設問(2)

示された減法の計算の仕方を解釈し、除法に関して成り立つ性質を「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書く問題

正答率は27.9%。計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を表現することに課題があると考えられる。



【ことねさんの計算の仕方】

$400 \div 25 = \square$
 $\downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4$
 $1600 \div 100 = 16$

変わらない

だから、 $400 \div 25$ の答えの \square は、16です。

$90 \div 18 = \square$
 $\downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9$
 $10 \div 2 = 5$

変わらない

だから、 $90 \div 18$ の答えの \square は、5です。

◎質問紙調査から

今後の授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、その基となる「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」と回答した小学生の割合は88.3%で、全国を1.3ポイント上回っている。各学校において筋道立てて考えを整理し、記録させる指導がしっかり行われていることがうかがえる。今後は、自分の考え方を多様な他者と対話的に学ばせることで、考えを深めたり広げたりすることができるよう、一層の指導の充実が求められる。

また、「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した小学生の割合は81.1%であり、本調査において生活と関連させた設問が増えている状況から考えても、今後の授業改善の視点として生活との連動を柔軟に取り入れ、授業の中で学ぶ必然性を子どもたちに味わわせる必要がある。

◎授業改善のための方策

【数と計算】

○計算について成り立つ性質を見出し、表現する指導

・除法等の基本型を基に、適用する数の範囲を広げていきながら統合的・発展的に考えられるようにし、数や場面を変えても計算について成り立つ性質を見出し、表現できるようにする。そのことで数理的に処理するよさを感じさせ、生活や学習に活用できるようにする。

【量と測定】

○場面の状況に応じ数理的に捉え、数学的に表現・処理して得られた結果から判断する指導

・伴って変わる二つの数量を見出すこと、複数の情報から必要な数量を取り出すことなど、数学的に表現・処理し、得られた結果から条件に当てはまるかどうか判断できるようにする。

【図形】

○図形の性質や構成要素に着目し、図形を観察・構成する指導

・図形の性質や構成要素に着目し、観察や構成などの数学的活動を通して、図形についての実感を伴う理解が深められるようにする。

【数量関係】

○資料の特徴や傾向を踏まえ考察したり、複数の資料の特徴や傾向を関連付けて判断したりする指導

・グラフから資料の特徴や傾向を読み取る機会を設け、複数の資料の特徴や傾向を関連付けながら、一つの資料からは判断できない事柄についても判断できるようにする。併せて、その理由や根拠を言葉や数を用いて表現できるようにする。

* 無解答とならないような粘り強く取り組めるよう指導するとともに、誤答分析による学級・学年ごとの弱点の洗い出し、それを解決できる具体的な改善の手立ての立案と計画的な実施が必要である。

～中学校・国語における調査結果の概要～

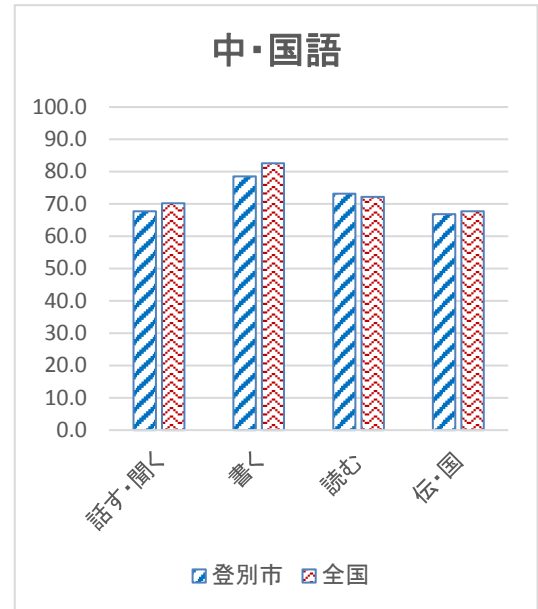
【読むこと】

情報を読む（新聞）

□大問1 設問二

【全国中学生新聞】の「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを全て選択する問題

正答率は65.1%で、全国を3.6ポイント上回っている。文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確に自分の考えをもつこと、文章の展開に即して情報を整理し内容を捉えることは概ねできているが、課題も見られる。



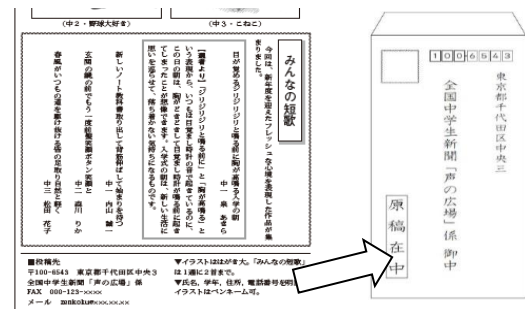
【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

情報を読む（新聞）

□大問1 設問四

封筒の書き方を理解して宛名を書く問題

正答率は56.1%。投稿する場面設定で、情報を取り出し封筒へ宛て名を記載する際、封筒の書き方を理解し、文字の大きさや配列などに注意して書くことに課題があると考えられる。



【話すこと・聞くこと】

話合いをする（文化祭）

□大問2 設問三

「地域とのつながりを大切にしたい文化祭にするために」という議題での話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないうこと」について自分の考えを書く問題

正答率は56.4%で無回答率14.3%

話合いの話題や方向を捉えられてはいるが、それを踏まえて自分の考えをもち、実際に話すための内容を構想することに課題があると考えられる。

【書くこと】

意見文を書く（地域の店）

□大問3 設問二

広報誌の一部にある情報（アンケート結果）を用いて、意見文の下書きに地域の店の「魅力」の具体例を書き加える問題 正答率は72.9%で無回答率11.5%

自分が伝えたいことについて、資料から根拠となる情報を取り出して正確に書くことはできているが、伝えたいことの根拠を示し、条件に合わせて読み手に分かりやすいように書くことに課題があると考えられる。

◎質問紙調査から

1日の生活の中で読書をする本市の中学生の割合は70.5%で、全国を5.3ポイント上回っている。各学校において小学校からの取組を生かし、生活の中に読書を根付かせる読書活動の取組が効果を上げていることがうかがえる。引き続き、語彙を増やす、言い回しを身に付ける、知識を増やす、心を穏やかにするなど、言語感覚を磨き言語環境の整備・充実につながる質の高い読書指導が求められる。

◎授業改善のための方策

【話すこと・聞くこと】

○目的や場面、話題に応じて話し合い、自分の考えをまとめ表現する指導

・各学年で話し合うことに係る指導を各校の教育課程に応じ意図的・計画的に行うとともに、話すこと・聞くことに関する指導事項との密接な関係を図って指導するようにし、対話的な学びの充実を図る。

【読むこと】

○文章の構成や展開を理解し、それに即した内容を的確に捉える指導

・文章の特徴や展開を把握するとともに、これまでの読書経験や体験などを基にして、内容や表現について比較や推論などを通して情報を整理し、相互に関連付けて読むことができるようにする。

【書くこと】

○目的や意図に応じ、相手に伝わるように分かりやすく書く指導

・各学年における書くことに係る指導を意図的・計画的に行うとともに、小学校までの学びを踏まえ、自分の考えの根拠として用いる情報が適切かどうか検討したり、活用する情報が自分の考えとどう関連しているかが明確になるよう記述したりすることができるようにする。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○字形を整え、文字の大きさや配列などについて理解して書く指導

・各学校や生徒の実態に応じ、実生活に生きて働く書写の指導を適切に設定するとともに、身に付けた能力を学習や生活に役立てられる機会を設定し、生徒が学びの効果を実感できるようにする。

～中学校・数学における調査結果の概要～

【数と式】

連立二元一次方程式

□大問 2 設問(3)

簡単な連立二元一次方程式を解く問題

正答率は62.9%。既習の計算問題を解くことに課題があると考えられる。

$$\text{連立方程式} \begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases} \text{を解きなさい。}$$

【図形】

証明することや反例をあげることを通して、統合的・発展的に考察すること（四角形の条件変え）

□大問 7 設問(3)

結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し、説明する文を書く問題

正答率は47.7%で無解答率が24.6%。証明の根拠となる三角形の合同条件は概ね理解できているが、結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し説明することに課題があると考えられる。

【関数】

事象の数学的な解釈と問題解決の方法（冷蔵庫）

□大問 6 設問(2)

冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する問題

正答率は21.5%で無解答率が19.3%。事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があると考えられる。

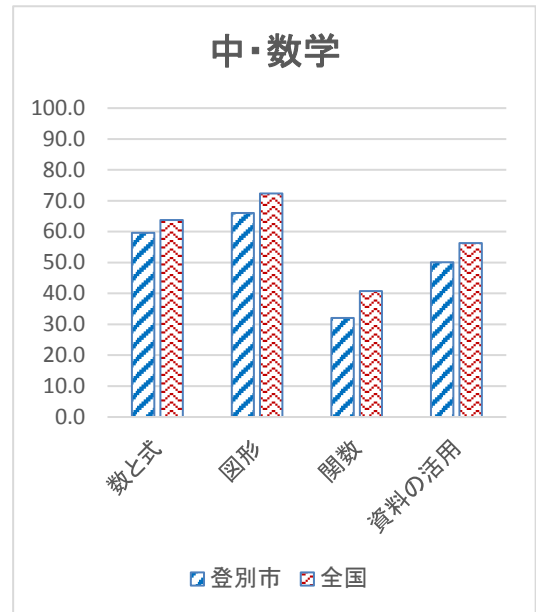
【資料の活用】

分析の傾向を読み取り、批判的に考察し判断すること（図書だより）

□大問 8 設問(2)

「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する問題

正答率は31.2%で無解答率が27.7%。資料（ヒストグラム）の傾向を的確に捉え、そう判断した理由を数学的な表現で説明することに課題があると考えられる。



(2) 健太さんの家では、7ページの健太さんが作った表で、容量が500Lである冷蔵庫Bと冷蔵庫Cのどちらかを購入することになりました。そこで、健太さんとお姉さんは、冷蔵庫を購入してx年間使用するときの総費用をy円として、冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用を比べてみることにしました。

健太さん「本体価格は冷蔵庫Cの方が高いので、最初のうちは冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が多いね。」
お姉さん「1年間あたりの電気代は冷蔵庫Cの方が安いので、使い続けると冷蔵庫Bより冷蔵庫Cの方が総費用が少なくなるね。」
健太さん「それなら、2つの冷蔵庫の総費用が等しくなるときがあるね。」

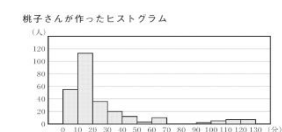
冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなるおよその使用年数を考えます。下のア、イのどちらかを選び、それを用いて冷蔵庫Bと冷蔵庫Cの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明しなさい。
ア、イのどちらかを選んで説明してもかまいません。

ア それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表す式

イ それぞれの冷蔵庫の使用年数と総費用の関係を表すグラフ

(2) 二人は、実施したアンケートをもとに、1日あたりの読書時間について、次のような表とヒストグラムにまとめました。穂子さんが出したヒストグラムでは、例えば、1日あたりの読書時間が30分以上40分未満だった生徒が20人いたことを表しています。

	平均値	最大値	最小値
1日あたりの読書時間(分)	26.0	120	0



二人は、上の航平さんが作った表と穂子さんが作ったヒストグラムについて話しています。

航平さん「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだね。」
穂子さん「でも、ヒストグラムを見ると26分ぐらいの生徒が多いとはいえないのではないかな。」

穂子さんが作ったヒストグラムを見ると、航平さんのように「1日あたりの読書時間の平均値が26.0分だから、1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いといえそうだ」という考えは適切でないことがわかります。その理由を、穂子さんが作ったヒストグラムの特徴をもとに説明しなさい。

◎質問紙調査から

課題解決に向かう学習への構えとして、今回の数学の問題について、「解答を言葉や数、式を使って説明する問題に対し、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した中学生の割合は52.0%で、全国を8.8ポイント下回っている。今後の授業改善の視点である「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けては、価値観の異なる多様な他者と協働して課題解決に当たる力が求められる。その意味では、粘り強く課題に向き合う意欲の醸成が急務である。

◎授業改善のための方策

【数と式】

○目的に合わせて式を変形したり、意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する指導

・連立二元一次方程式を解く際、2つの文字のうち一方の文字を消去し、一元一次方程式に帰着する考え方に気付けるようにし、それにより具体的な問題を解決できるようにする。

【図形】

○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し、説明する指導

・図形の性質の証明など、ある結論が成り立つ事柄について、前提を変えた際に同じ結論が成り立つかどうかを検討する場面を設定し、論理的に判断できるようにする。

【関数】

○事象の数学的な解釈に基づき、問題解決の方法を数学的に説明する指導

・与えられた情報から必要な内容を取り出し、問題解決の方法を考え、使うものと使い方を明確にして問題解決の方法を数学的に説明することができるようにする。

【資料の活用】

○データの分布傾向を読み取り、判断することを通して、統計的に問題解決する指導

・日常生活や社会事象を考察する問題に対して、目的に応じて各種資料からデータを収集し、ヒストグラムなどに整理してデータの分布傾向を読み取り、その内容に基づいて判断し統計的に問題解決を図り、数学的に説明できるようにする。

* 小学校同様、問題を見た瞬間に手を付けないということのないよう、個々の理解度に応じた粘り強さを育てる指導を継続するとともに、誤答分析による学級・学年ごとの弱点の洗い出し、それを解決できる具体的な改善の手立ての立案と計画的な実施が必要である。

～中学校・英語における調査結果の概要～

【聞くこと】

情報を正確に聞き取る

□大問 1 設問(2)

ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

正答率は90.3%。話されたり書かれたりしている内容を聞き取ったり、読み取ったりすることは、概ねできていると考えられる。

【読むこと】

情報を正確に読み取る

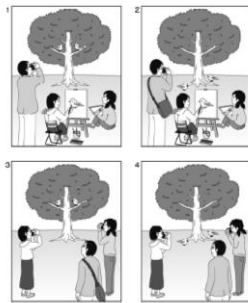
□大問 5 設問(2)

ある状況を描写する英語を読み、その内容を最も適切に表している絵を選択する問題

正答率は79.7%で、全国を5.3ポイント上回っている。

(2) 次の英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

I went to a park yesterday. I saw two beautiful birds in the tree. There were three people around the tree. Two girls were taking pictures. A man with a bag was just watching the birds.



【読むこと】

読んだ内容について適切に応じる

□大問 8

食糧問題について書かれた資料を読み、その問題に対する自分の考えを書く問題

正答率は7.5%で無解答率37.5%。資料を読み、感想や賛否、その理由を表現することができるよう、書かれた内容や要点を主体的に捉えること、それを踏まえ、自分の考えを示すことに課題があると考えられる。

【書くこと】

語や文法事項等を理解して正しく文を書く

□大問 9 設問(3)①②

与えられた情報に基づき、ある女性を説明する英文を書く問題

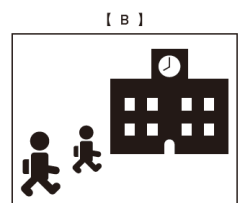
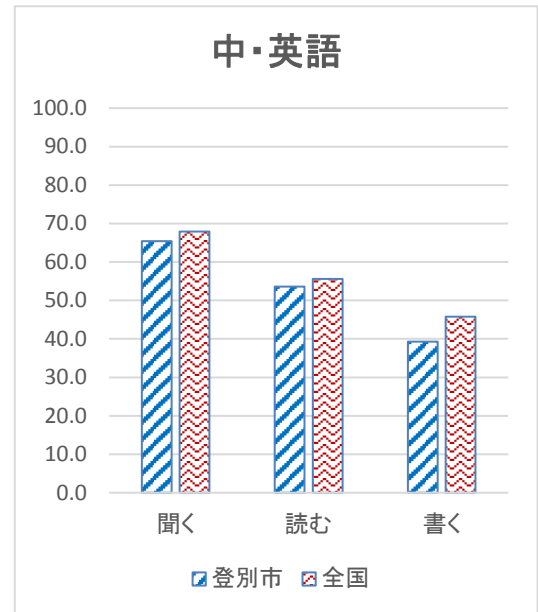
正答率はそれぞれ①36.6%、②25.0%。基本的な語や文法事項等の知識の活用に係る課題とともに、与えられたテーマについてまとまりのある文章を書く際、相手に伝わるよう英語で表現することに課題があると考えられる。

まとまりのある文章を書く

□大問 10 設問(3)①②

学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較し、どちらがよいか理由とともに25語以上の英語で意見を書く問題

正答率は0.9%で、無解答率が15.3%。



【話すこと】 ※各校で解答状況を確認し、改善の手立てを立案し実施すること
即興でやりとりする

□大問2

ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて会話が続くように即興で質問することができるかをみる問題 全国の正答率は10.5%で、無解答率が20.7%。

まとまりのある内容を話す

□大問3

海外のテレビ局の取材を受ける場面で、自分の夢とそのために努力していることについて話すことができるかをみる問題 全国の正答率は45.8%。

◎質問紙調査から

今後、グローバルに活躍できる人材育成に当たり、コミュニケーションツールとなる英語に関する興味関心を高めることは必須である。その意味で、英語の勉強が好きと回答した本市の中学生の割合は54.2%で、登別市小中学校英語教育推進プログラムに基づいた学習を進めてきた本市においては、決して高い数値ではない。ただ、「授業では原稿等の準備をすることなく（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた」と回答した本市の中学生の割合は68.0%あり、全国を5.1ポイント上回っていることから、授業レベルでの効果的な学習機会が設定されていると考えられる。

各学校では、小学校から積み上げられてきた英語教育の実際を理解し、系統的に円滑な学習を展開することが求められる。小学校高学年での教科学習を通過してきた生徒の入学を見据え、中学校でのスタート段階における手立てを小中連携を基に構想し、子どもたちの思いに応えるコミュニケーション重視の学習展開が必要である。

◎授業改善のための方策

○生徒の学習意欲を高める指導

- ・授業をアウトプットの間と位置付け、学習を通してインプットした知識や表現を、実際のやり取りやコミュニケーションを通して着実に身に付けさせるようにする。
- ・必然性のあるコミュニケーションが行えるよう、授業を組み立てる。
- ・学習成果を形成的に評価し、生徒個々の学習意欲の向上を図る。（CAN-DOリストの作成・活用）

○新学習指導要領の全面実施に向けた意図的・計画的・組織的な指導

- ・一文ごとの聞き取りや読み取りに偏ることなく、場面や状況等に応じた聞くこと・読むことに係る言語活動を充実させるようにする。
- ・言語活動を通して文法事項等を理解させ、確実に定着できるようにする。（和訳に応じた英文の穴埋めなどのドリル学習に終始しない）
- ・即興でのやり取りなど、実際のコミュニケーションを生かした話すこと・書くことの発信活動を充実させるようにする。

* 本市独自の取組である英検Jr. (小学校4年受検)、チャレンジ英検(3級受検補助)、その他道教委の英検I B Aなど、様々な機会をとらえ、英語教育の充実に係る取組を推進する。

小学校国語

	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)			国との比較	無解答 全国比
			市	道	国		
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】でく資料2)とく資料3)をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	65.7	68.6	71.2	-5.5	
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2) 公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方工夫を捉える	59.8	61.7	63.4	-3.6	○-2.4
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	27.4	27.9	28.8	-1.4	
1四 (1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいししょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	39.1	41.4	41.9	-2.8	
1四 (1)イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部イを、漢字を使って書き直す(友達にかぎらず)		81.9	70.3	69.4	12.5	○-5.2
1四 (1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の□部ウを、漢字を使って書き直す(かみしんをもってもらいたい)		29.5	34.1	35.6	-6.1	
1四 (2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	41.8	46.1	47.8	-6.0	$\frac{12.8}{\Delta+1.5}$
2一 (1)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□アに入る、疑問に思ったこと①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかむ	79	80	80.7	-1.7	
2一 (2)	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□イに、疑問に思ったこと②に対する答えになるように考えて書く		74.7	75.3	75.9	-1.2	
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	89.6	88.3	88.5	1.1	
3一	畳職人への【インタビューの様子】の□アに入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	80.6	80.4	81.3	-0.7	
3二	畳職人への【インタビューの様子】の□の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	67.3	66.1	67.4	-0.1	
3三	【インタビューの様子】の□イに、畳職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	65.7	66.5	68.2	-2.5	$\frac{16.0}{\Delta-1.8}$
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の□ウに入る適切なものを選択する(習うより慣れよ)	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる	68.4	72.6	73	-4.6	

小学校算数

	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)			国との比較	無解答 全国比
			市	道	国		
1 (1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	台形について理解している	92.6	92.2	93.1	-0.5	
1 (2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる	60.6	59.7	60.3	0.3	
1 (3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる	36.7	41.8	43.9	-7.2	○-2.2
2 (1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる	95.5	95.3	95.2	0.3	
2 (2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる	77.4	75.5	78.6	-1.2	
2 (3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる	46.8	49.5	52.1	-5.3	
2 (4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	55.3	57.7	60.1	-4.8	
3 (1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる	81.1	80.5	81.8	-0.7	
3 (2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなのかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	27.9	30.1	31.1	-3.2	○-2.6
3 (3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる	75.3	72.3	74.9	0.4	
3 (4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している	42	41.1	47	-5.0	
4 (1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる	77.4	81.3	82.7	-5.3	
4 (2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求め式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	67.8	66.8	68.6	-0.8	
4 (3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分間以内にレジに着くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる	60.9	59.3	62.6	-1.7	

中学校国語

	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)			国との比較	無解答 全国比
			市	道	国		
1一	「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ	65.4	61.9	63.9	1.5	
1二	「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える	65.1	62.2	61.5	3.6	
1三	「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ	89.1	89.4	91.2	-2.1	
1四	「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く	56.1	56.9	56.8	-0.7	
2一	話し合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	79.4	80.6	80.4	-1.0	
2二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する	67.3	69.7	69.7	-2.4	
2三	話し合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていないこと」について自分の考えを書く	話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	56.4	57.9	60.4	-4.0	$\frac{14.3}{\Delta-5.4}$
3一	意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する	84.1	86.5	87.4	-3.3	
3二	広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	72.9	75.7	77.8	-4.9	$\frac{11.5}{\Delta-3.6}$
4	語の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する	77.6	80.4	78.7	-1.1	

中学校数学

	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)			国との比較	無解答 全国比
			市	道	国		
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	66	64.3	62.2	3.8	
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	62.9	68.3	70.1	-7.2	
3	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	76.9	81.7	83.6	-6.7	
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる	41.4	46	48.9	-7.5	11.5
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる	69.5	71.6	72.8	-3.3	
6 (1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を表すものを選ぶ	グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる	33.3	37.4	38.8	-5.5	
6 (2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	21.5	33.1	34.7	-13.2	$\frac{19.3}{\Delta} - 7.7$
7 (1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	65.7	76	75.8	-10.1	$\Delta - 2.9$
7 (2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	反例の意味を理解している	73.5	76.6	77.2	-3.7	
7 (3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	47.7	50.3	53.3	-5.6	$\frac{24.6}{\Delta} - 7.0$
8 (1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	52.6	55.3	57.9	-5.3	$\frac{17.4}{\Delta} - 6.8$
8 (2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	31.2	41	40.8	-9.6	$\frac{27.7}{\Delta} - 6.4$
8 (3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる	47	50.4	53.6	-6.6	
9 (1)	説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	54.2	55	57.4	-3.2	$\frac{14.6}{\Delta} - 5.1$
9 (2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	49.8	55.2	59.7	-9.9	$\frac{24.3}{\Delta} - 6.5$
9 (3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる	65.1	67.8	69.6	-4.5	

中学校英語

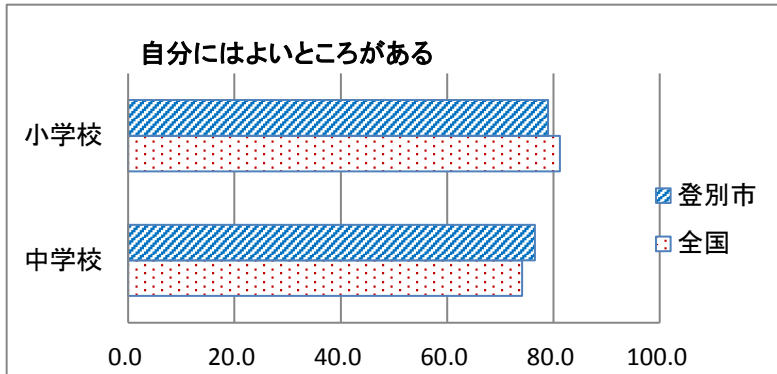
【聞くこと・読むこと・書くこと】

	設問の概要	出題の趣旨	正答率(%)			国との比較	無解答 全国比
			市	道	国		
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	90.3	92	91.1	-0.8	
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	81.6	87.7	88.6	-7.0	
1 (3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	67.2	71.1	72.3	-5.1	
1 (4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	65.3	62.5	61.8	3.5	
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を並び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	67.5	73.9	71.8	-4.3	
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	81.6	81.6	82	-0.4	
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	4.7	6.7	7.6	-2.9	48.8 △-6.5
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	73.1	75.9	79.4	-6.3	
5 (2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的话题について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	79.7	72.7	74.4	5.3	
5 (3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	日常的话题について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	69.1	69.3	73.1	-4.0	
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる	61.9	60.2	62.9	-1.0	
7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる	30.6	33	32.8	-2.2	
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	7.5	9.4	10.9	-3.4	37.5 △-9.6
9 (1) ①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	76.3	79.5	79.9	-3.6	
9 (1) ②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	54.4	57.6	58.2	-3.8	
9 (2) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる	65.3	70.6	73.6	-8.3	△-2.8
9 (2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	23.1	25	28.9	-5.8	16.3 △-3.7
9 (3) ①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	36.6	45.5	53.5	-16.9	
9 (3) ②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	25	27.4	32.9	-7.9	
9 (3) ③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる	32.5	34.2	37.4	-4.9	11.6
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	0.9	1.4	1.8	-0.9	15.3 △-7.0

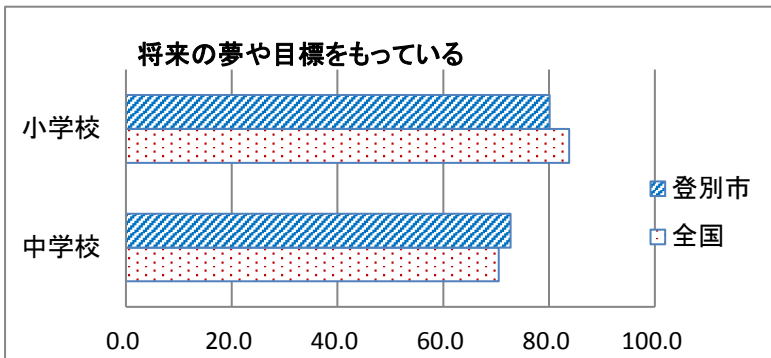
【話すこと】	設問の概要	出題の趣旨	正答率 30.8%(参考値)	
			国	無回答率
1 (1)	カレンダーを見て、少女の誕生日を答える	月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる	27.3	8.6
1 (2)	テレビを見ている2人の子供の絵を見て、何をしているのか答える	基本的な文法(現在進行形)を理解して、応答することができる	44.7	6.6
1 (3)	バスで登校する少年の絵を見て、交通手段を答える	適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる	25.7	7.0
2	ユイコとアラン先生のやり取りを聞き、その内容を踏まえて会話が続いていくように、即興で質問をする	聞いて把握した内容について、やり取りすることができる	10.5	20.7
3	海外のテレビ局の要望に応じて、自分の将来の夢、またはやってみたいこと等話す	与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる	45.8	4.6

児童・生徒質問紙調査より①

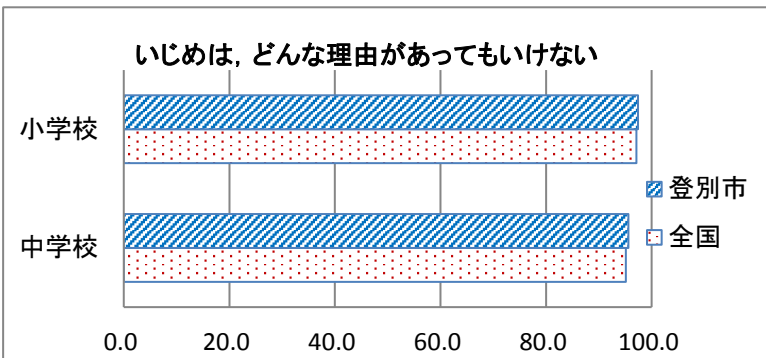
□自分について



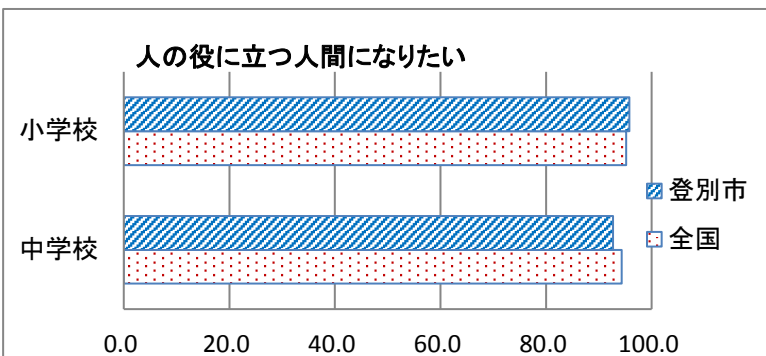
肯定的な回答をした小学生は79%、中学生は76.5%。全国平均に比べ、小学生は2.2ポイント下回り、中学生は2.4ポイント上回っている。



肯定的な回答をした小学生は80.1%、中学生は72.7%。全国平均に比べ、小学生は3.7ポイント下回り、中学生は2.2ポイント上回っている。自己肯定感の醸成と併せ、小学校からのキャリア教育の積み上げが求められる。



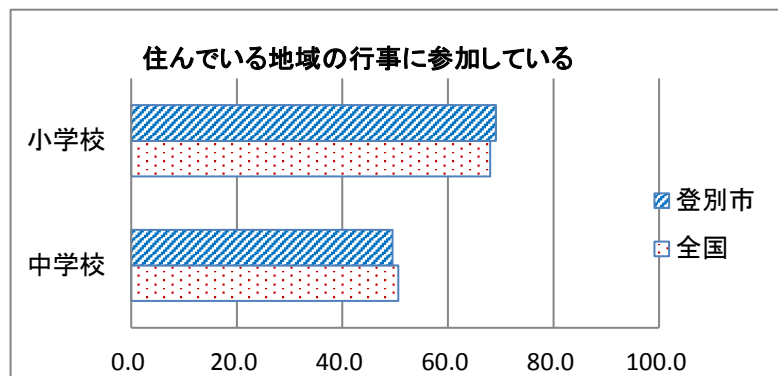
肯定的な回答をした小学生は97.4%、中学生は95.6%。全国平均に比べ、小学生は0.3ポイント、中学生は0.5ポイント上回っている。



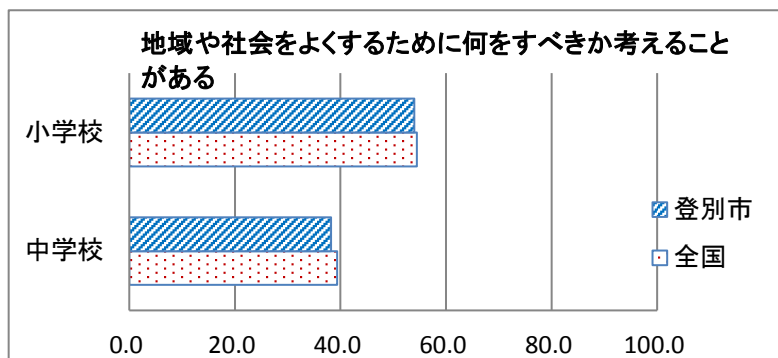
肯定的な回答をした小学生は95.8%、中学生は92.7%。全国平均に比べ、小学生は0.6ポイント上回り、中学生は1.6ポイント下回っている。自己肯定感とともに、集団における自己有用感の醸成に向けた取組が求められる。

児童・生徒質問紙調査より②

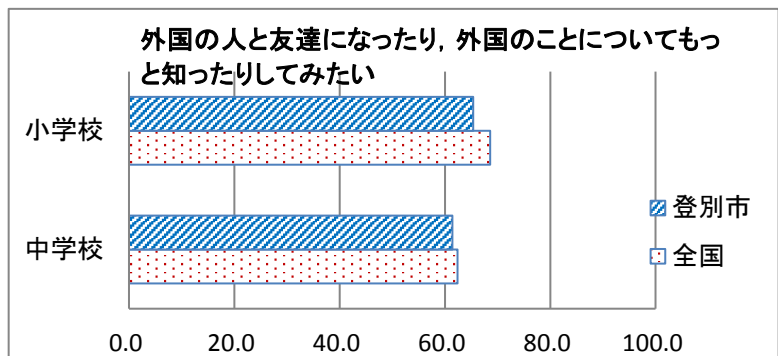
□地域・人との関わりについて



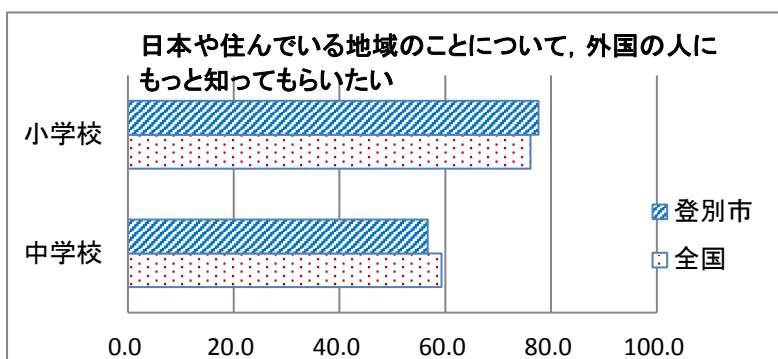
肯定的な回答をした小学生は69.1%、中学生は49.5%。全国平均に比べ、小学生は1.1ポイント上回り、中学生は1.1ポイント下回っている。



肯定的な回答をした小学生は54%、中学生は38.2%。全国平均に比べ、小学生は0.5ポイント、中学生は1.2ポイント下回っている。社会に開かれた教育課程の実現や地域を担う人材育成の観点から、地域・社会の理解を促す取組や教育活動が求められる。



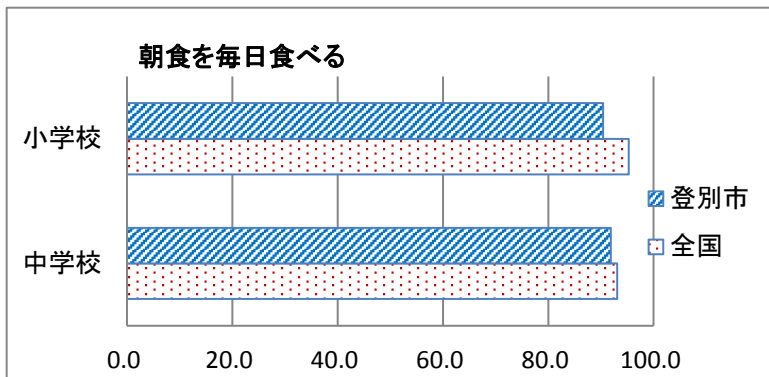
肯定的な回答をした小学生は65.4%、中学生は61.4%。全国平均に比べ、小学生は3.2ポイント、中学生は1ポイント下回っている。登別市小中学校英語教育推進プログラムで掲げる「一人一人が観光都市登別市の親善大使に」を実現すべく、9年間を見通した英語教育の推進による子どもたちの意欲喚起・英語力の向上が求められる。



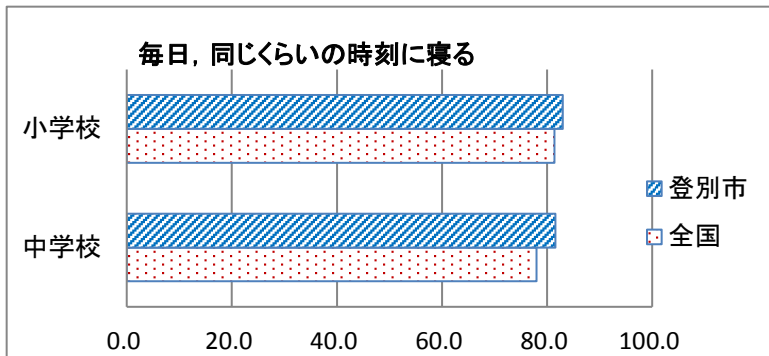
肯定的な回答をした小学生は77.6%、中学生は56.7%。全国平均に比べ、小学生は1.5ポイント上回り、中学生は2.6ポイント下回っている。生きて働く英語によるコミュニケーション能力の育成が求められる。

児童・生徒質問紙調査より③

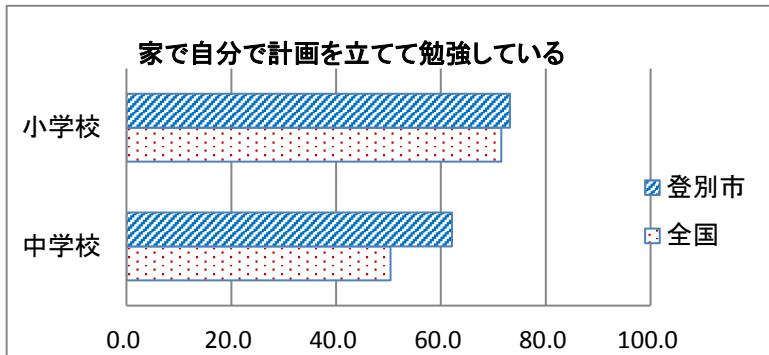
□家庭生活・家庭学習について



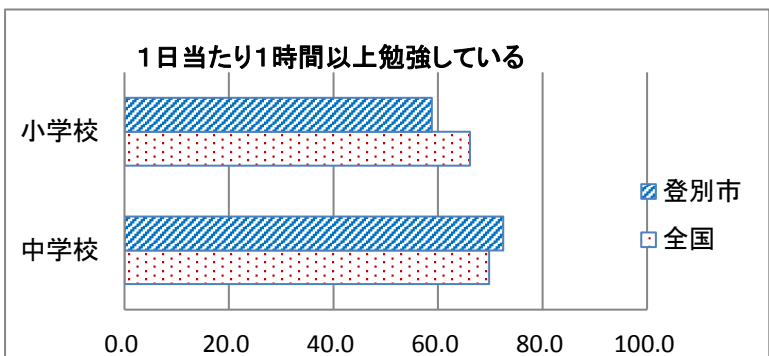
肯定的な回答をした小学生は90.4%、中学生は91.9%。全国平均に比べ、小学生は4.9ポイント、中学生は1.2ポイント下回っている。



肯定的な回答をした小学生は83%、中学生は81.6%。全国平均に比べ、小学生は1.6ポイント、中学生は3.6ポイント上回っている。「毎日、同じくらいの時刻に起きる」と回答した小学生は91.8%、中学生は95%。全国平均に比べ、小学生は0.2ポイント、中学生は2.2ポイント上回っている。



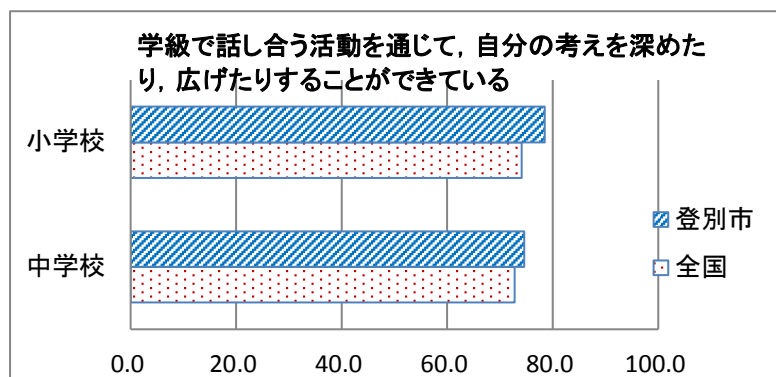
肯定的な回答をした小学生は73.2%、中学生は62.1%。全国平均に比べ、小学生は11.7ポイント上回っている。



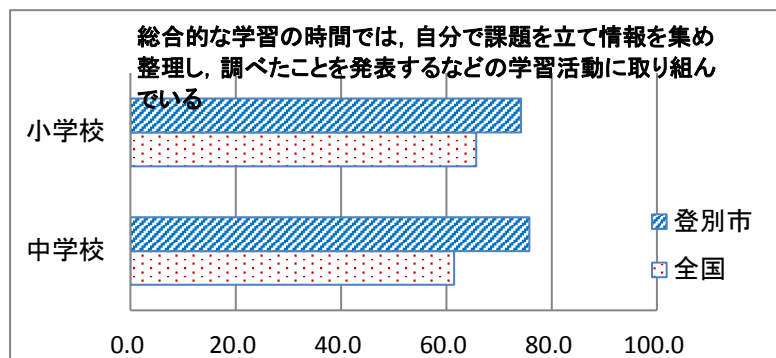
1時間以上学習していると回答をした小学生は58.8%、中学生は72.5%。全国平均に比べ、小学生は7.3ポイント下回り、中学生は2.7ポイント上回っている。

児童・生徒質問紙調査より④

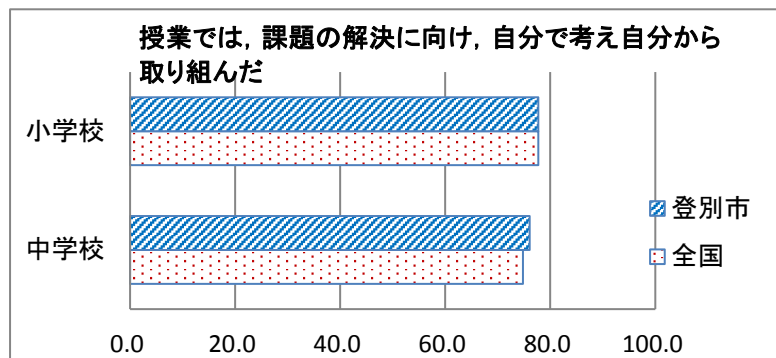
□学校での学習について



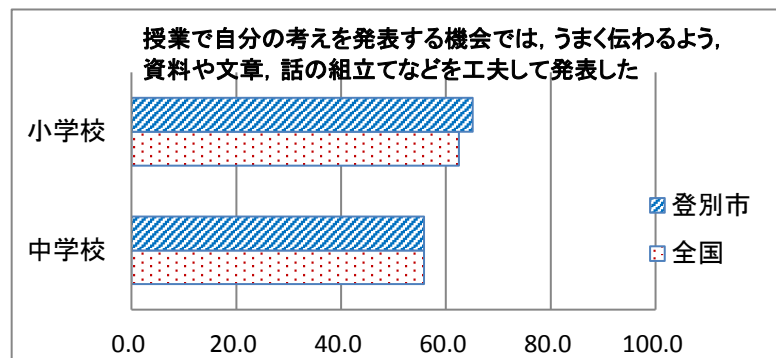
肯定的な回答をした小学生は78.5%、中学生は74.6%。全国平均に比べ、小学生は4.4ポイント、中学生は1.8ポイント上回っている。各学級で、学習等において対話的な活動が適宜設定されていることがうかがえる。



肯定的な回答をした小学生は74.2%、中学生は75.8%。全国平均に比べ、小学生は8.5ポイント、中学生は14.3ポイントと大きく上回っている。主体的・対話的で深い学びが展開しやすい総合的な学習の時間において、各学級では効果的な指導過程が設定されていることがうかがえる。



肯定的な回答をした小学生は77.7%、中学生は76.1%。全国平均に比べ、小学生は同ポイント、中学生は1.3ポイント上回っている。



肯定的な回答をした小学生は65.1%、中学生は55.8%。全国平均に比べ、小学生は2.6ポイント上回り、中学生は同ポイントとなっている。